

なせ社協

～みんなが住みよい町づくり～

発行 名瀬地区社会福祉協議会
会長 荒木三和子

「敬老の日」祝賀会



4年ぶりの開催

9月18日(月)13:00より名瀬小学校体育館において名瀬連合町内会主催の敬老の日祝賀会が開催され、招待客75歳以上1,028名のうち約200名が出席されました。

残暑の厳しい一日でしたが、今春改装工事を終えた体育館にはエアコンが設置されており、ご出席の皆さまには快適なひとときを過ごしていただくことができました。

式典では、河野実行委員会委員長の開会のことばの後、新井連合町内会会長、荒木地区社協会長の挨拶、来賓代表として國本直哉戸塚区長から祝辞があり、最後に浅岡名瀬地区老人クラブ連合会代表から招待者を代表して挨拶がありました。招待者にはカステラを、白寿1名、百歳以上2名の長寿者には記念品が届けられました。

余興では、民謡(第二町内会)、名瀬コーラス、フルートとピアノの演奏、フラダンス、器楽演奏(第三町内会)など、プロ顔負けの熱演が繰り広げられ、会場からは大きな拍手が起こっていました。



國本戸塚区長の祝辞

余興



ボランティア連絡会の研修会 スキルアップ講座

子どもが子どもでいられる地域に
みんなでヤングケアラーを支える



10月30日(月)、名瀬地域ケアプラザにて、一般社会法人「Omoshiro」代表理事 勝呂ちひろ氏の講演会が開催されました。

(参加者20名)

ヤングケアラーとは、本来大人

が担うと想定される家事や家族の世話を日常的に行っている子どもの事です。責任や負担の重さにより、学業や友人関係に影響が出てしまう事があるそうです。横浜市でも小5で20.3%、中2で13.5%、高2で5.4%の子が家族の世話をしているとの調査結果が出ているそうです。

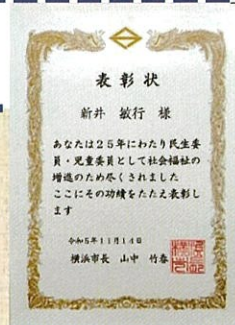
周りの人が気付き声を掛けたり手を差し伸べて、ヤングケアラーを支える地域を目指して、自分達に何ができるのか関心を持つ事から始めようと思いました。
共催：名瀬地域ケアプラザ



第43回 横浜市社会福祉大会

11月14日(火)14:00より、関内ホールにて、横浜市社会福祉大会が開催され、永年勤続・活動功労として新井敏行氏(名瀬連町会長)が民生委員・児童委員25年以上勤続で表彰され、その功績をたたえられました。

また杉山喜弘・藤原紀子両氏が10年以上勤続で表彰されました。



令和5年度 戸塚区社会福祉大会 戸塚ハートプラン活動発表会

11月11日(土)13:30から男女共同参画センターにて開催されました。まず、西村戸塚区社会福祉協議会会長、國本戸塚区長の挨拶がありました。

第一部 戸塚区社会福祉大会では、戸塚区社会福祉協議会会長表彰があり、個人の部は受賞者12名、名瀬地区では、名瀬地区社会福祉協議会の坂佐井八郎事務局長(第一町内会在住)がボランティア活動功労者として表彰されました。団体では6団体が表彰されました。



第二部 戸塚ハートプラン活動発表会では、

① 名瀬地区ハートプラン推進委員会の「なせホッと食堂♥」(地域食堂・子ども食堂)の取り組みについて、新井連合町内会長、安藤第二町内会長(なせホッと食堂♥代表)、荒木地区社協会長の発表や、

②月曜ひろば、③NPO法人「ぐるーぷ・ちえのわ」の発表がありました。

最後に、愛知東邦大学の西尾教授の「誰もが安心して心豊かに暮らすことができるまちに」という講演があり、家でも学校でもない第三の場(地域の居場所)の必要性など説き、私たちの「なせホッと食堂♥」の活動にエールをくださいました。



「なせホッと食堂♥」の発表

第14回 ふれあいグラウンドゴルフ



11月12日(日)、名瀬中学校グラウンドにて開催されました。早朝の準備時には小雨でしたが、競技が始まる頃には雨も上がり、絶好のグラウンドコンディションのなかで進行いたしました。

今回は、コロナ禍明けの判断の基、以前のように小学生帯同のチーム編制で企画しました。参加8チームのうち3チームが帯同で参加してくれました。世代を超えた交流のもと、白熱したゲームが行われ、1位が同スコアとなり大会規定により小学生人数が多いチームが優勝。今大会の理念に沿うような結果になりました。当日は国会・県会・市会の各議員さんの応援・励ましもあり、大変盛り上がりしました。

尚、事前・当日の準備・運営にあたり、地区社協・スポーツ推進委員・青少年指導員の各スタッフのご尽力のもと、無事に終わることができました。誠にありがとうございました。

1位	第四町内会 A	215 打
2位	ネオポリス自治会	215 打
3位	第二町内会 A	217 打



優勝チームの第四町内会 A の皆さん